

日本アジア投資株式会社
2025年3月期 期末
決算補足資料

決算発表日: 2025年5月15日

1. 総括	P3
2. 当期の実績	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P9
4. 業績予想	P13
5. 参考情報	P15

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 当期実績

- ✓ 122.9%増収、黒字回復
- ✓ プロジェクトの売却が進捗、中華圏の損失処理が減少、コスト削減が寄与

2. 中計の進捗

- ✓ 1年目のKPI(AUM・AUA)は未達、3年目までに達成する見込み
- ✓ ファンドの増額・新規組成を複数企画中

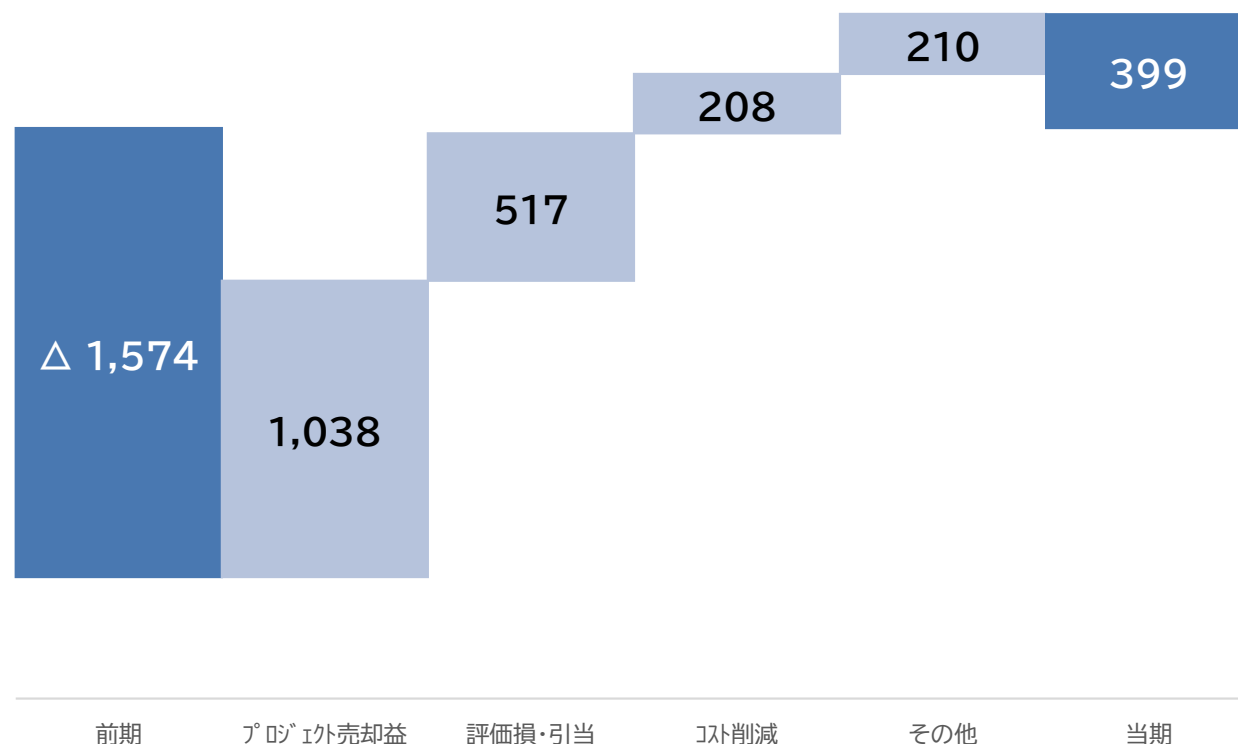
3. 業績見込

- ✓ 13.9%増収、12.6%増益を見込む
- ✓ 複数の未上場株式の売却益を見込む
- ✓ プロジェクトの売却は減少込み

2. 当期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減率
営業収益	964	↗ 2,150	122.9%
営業原価	1,392	↘ 990	△28.9%
営業総利益	△427	↗ 1,160	-
販管費	1,094	↘ 886	△19.0%
営業利益	△1,522	273	-
経常利益	△1,569	438	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,574	↗ 399	-

親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



✓ 増収・黒字転換要因:

- プロジェクト21件を売却（前期の売却件数は1件）
※21件:障がい者グループホーム16棟、メガソーラー3件、物流施設1件、高齢者施設1件
- 営業原価のうち評価損や引当金が減少（前期は中華圏で多額に発生）
- 役員報酬の減額を始めとしたコスト削減を実施

2. 当期の実績－営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業収益	964	2,150	314	1,603	502	388	147	158
管理運営報酬等	149	160	3	3	26	29	119	126
営業投資有価証券売却高	654	1,050	263	722	391	328	-	-
組合持分利益・インカムゲイン等	74	849	23	837	51	12	-	-
その他営業収益	85	89	24	39	33	18	27	31
営業原価	1,392	990	543	738	848	251	-	-
営業投資有価証券売却原価	451	719	262	513	189	205	-	-
営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	645	127	-	88	645	39	-	-
組合持分損失等	279	124	269	118	10	6	-	-
その他営業原価	16	18	12	18	3	-	-	-
営業総利益	△427	1,160	△229	864	△346	137	147	158

✓ 投資開発事業:増収・黒字転換

- ・営業収益(売却高):メガソーラープロジェクト3件の売却額を計上
- ・営業収益(組合持分利益・インカムゲイン等):物流施設1件、高齢者施設1件、障がい者グループホーム16棟の売却益を計上

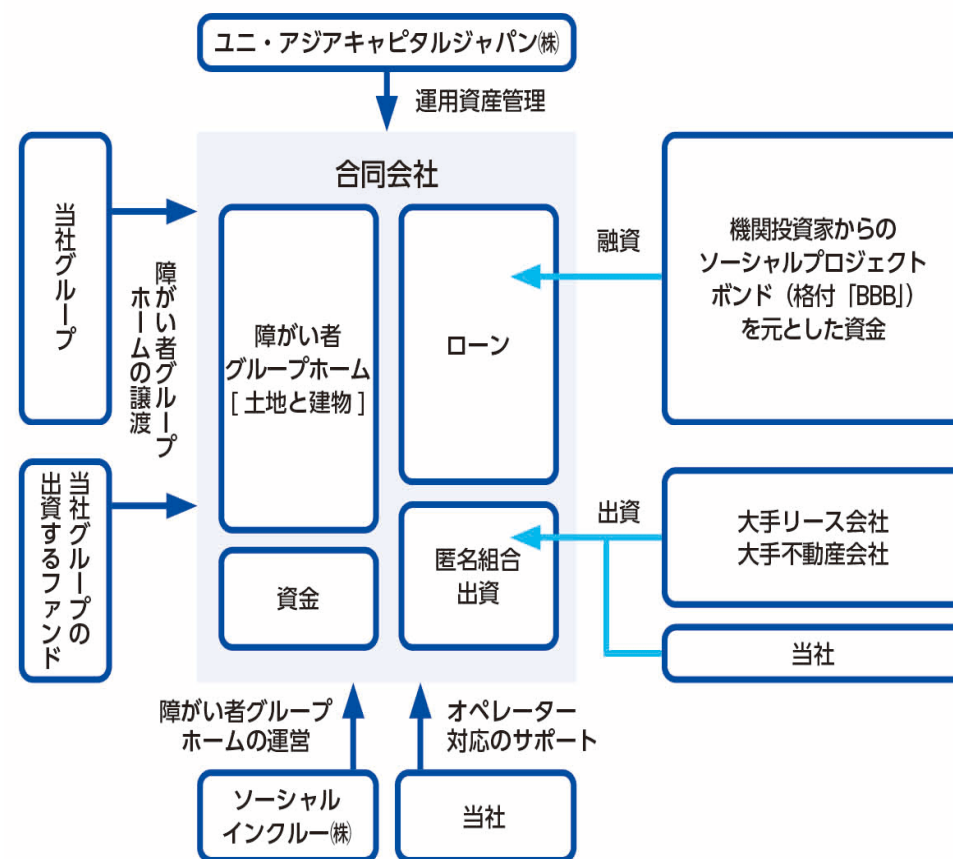
✓ 投資運用事業:減収・黒字転換

- ・営業収益(売却高):前期は利益率の高い上場株式を売却したが、当期は未上場株式の売却が中心のため減少
- ・営業原価(評価損・引当金):前期は中華圏で回収見込み額の低下した銘柄に計上したが、当期は減少

2. 当期の実績－障がい者グループホーム16棟を譲渡



- ✓ 2024年10～11月、竣工済みの障がい者グループホーム16棟を譲渡
- ✓ 社会性(ソーシャル)の高い投資機会を求める機関投資家の資金と、障がい者支援分野の資金ニーズをつなぐ新規性に富んだ取り組みを実現
- ✓ 譲渡先は、当該グループホーム等を裏付資産としたソーシャルプロジェクトボンド(貸付債権を裏付けとする信託受益権)の発行による機関投資家からの資金調達および大手リース会社並びに大手不動産会社から匿名組合出資を受けた合同会社
- ✓ 当該ソーシャルプロジェクトボンドは、株式会社格付投資情報センターから信用格付(BBB)およびソーシャルボンド・フレームワーク適合に関するセカンドオピニオンを取得



2. 当期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2024年3月期末	2025年3月期	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,438	10,693	2.5%	
うち 現預金	1,750	 3,292	88.0%	回収+31、増資+10、 投融資実行△10、返済△8、 費用等△9、他+1
うち 投資開発事業 (引当後 プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	5,248	 4,088	△22.1%	分配・売却等△18、引当金△1 投融資実行+6、持分損益+1
うち 投資運用事業 (引当後 プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	3,003	2,856	△4.9%	分配・売却等△8、 投資実行+2、引当金+4
借入金	4,314	 3,495	△19.0%	返済△8
自己資本	5,633	 6,907	22.6%	増資+10、利益+4、 含み益△2

- ✓ 現預金 :投資の回収進捗や、2024年6月に実施した第三者割当増資により増加
- ✓ 投資資産:プロジェクトの売却により減少
- ✓ 借入金 :計画に基づき返済を実施
- ✓ 自己資本:増資や利益の計上により増加

2. 当期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるCF	456	 1,427
投資活動によるCF	 2	24
財務活動によるCF	 828	 179
CF増減額	 365	1,650
期末残高	1,396	3,047

- ✓ 営業活動によるCF:利益の計上や回収の進捗により収入が増加
- ✓ 財務活動によるCF:長期借入金の返済を行った一方で第三者割当増資による収入を計上

3.中期経営計画の進捗状況

－資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 ➡ 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて ➡ 資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

- ① 安定収益の拡大 (フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着➡資本コストの低減)
- ② 収益性の改善 (長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え➡資産の回転率の改善 & アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し➡収益性の改善)
- ③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
- ④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

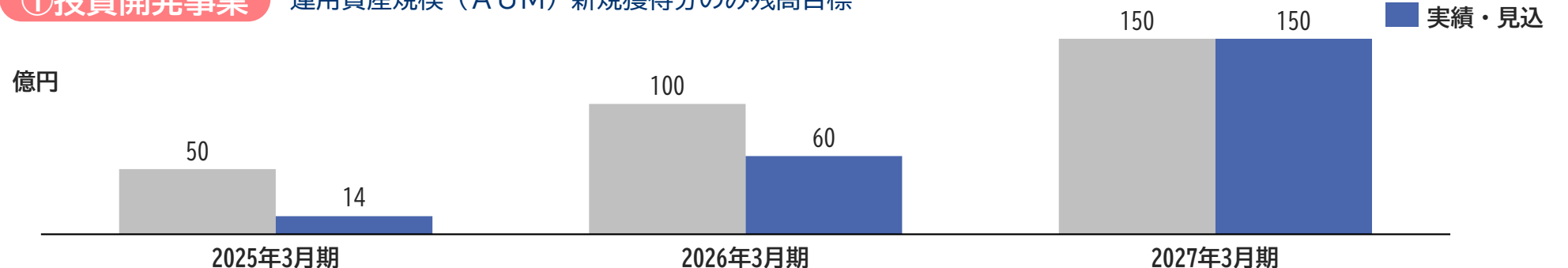
重要な目標指標 (KGI)

	24/3月期	27/3月期	目指す姿
安定収益	2億円	8億円	10.8億円
ROE	赤字	12.7%	資本コスト 13.4%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	△16億円	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

3.中期経営計画の進捗状況－KPIの進捗状況

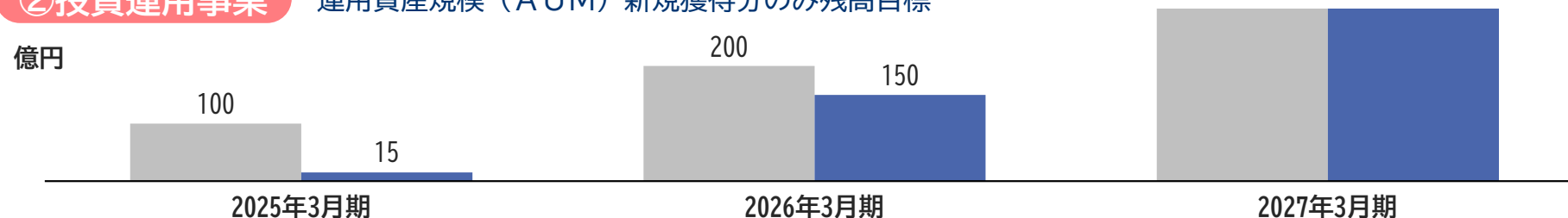
①投資開発事業

運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標



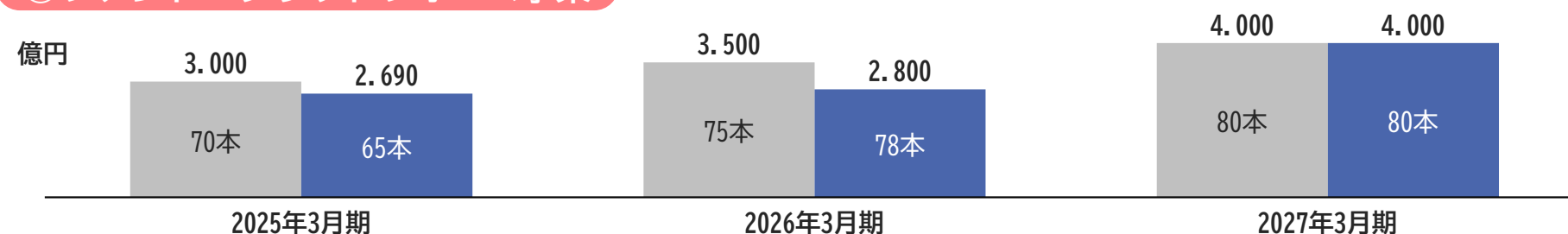
②投資運用事業

運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標



③ファンド・プラットフォーム事業

受託資産規模（AUA）期末残高目標



- ✓ 投資開発事業は障がい者グループホーム以外では外部環境を見極めながら慎重に案件を開発
- ✓ 投資運用事業は25/3期末に4本のファンドを組成、既存ファンド増額やファンドの新設を複数企画中
- ✓ ファンド・プラットフォーム事業は、AUA残高は未達であるものの料率改善により25/3期の売上目標は達成

3.中期経営計画の進捗状況－障がい者グループホームへの投資

- ・九州地方で、地域金融機関との協業により案件開発が進捗
- ・2025/3期中に11棟への投資を実行
- ・25/3期中の譲渡後も資産の積み上げは順調

投資実行済み棟数

全 **18** 棟

他、譲渡済み棟数

16 棟

九州

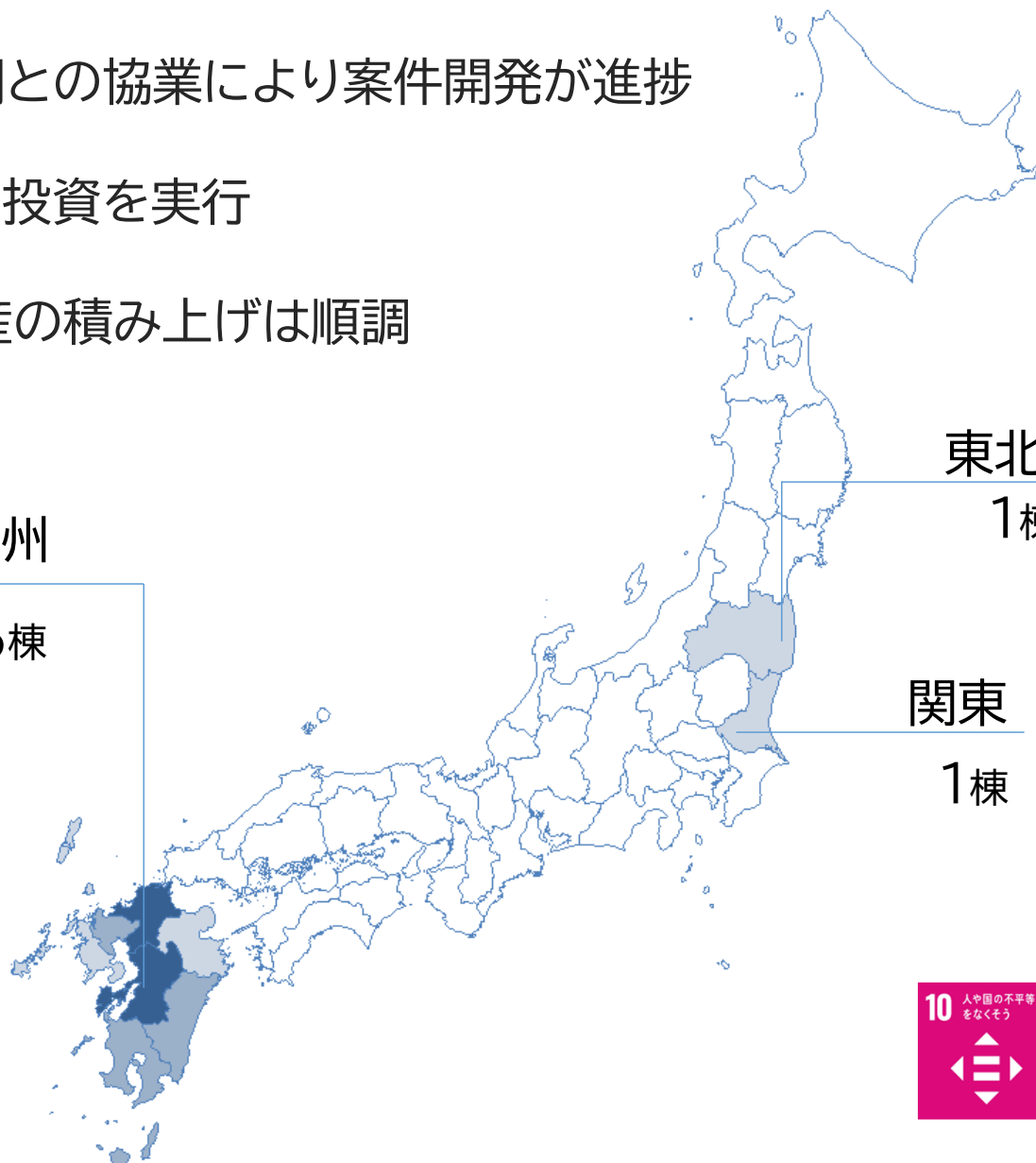
16棟

東北

1棟

関東

1棟



3.中期経営計画の進捗状況－新規組成ファンドの紹介

ファンド名称	設立日	ファンド総額	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月	179百万円	当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	160百万円	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月	830百万円	製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月	400百万円	Web3(NFT 等)関連の国内上場企業



主な投資先企業



ブランディングテクノロジー
株式会社

(東証グロース:7067)

事業内容:ブランド事業、デジタルマーケティング事業、オフショア関連事業



株式会社タカチホ

(東証スタンダード・名証メイン:8225)

事業内容:観光みやげ品の製造および卸売業、観光みやげ品等の小売業、他



株式会社イオレ

(東証グロース:2334)

事業内容:コミュニケーションデータ事業、HR データ事業、Web3 事業 (NFT 販売代理・ゲームギルド運用)等の新規事業

4. 業績予想－業績予想の詳細

(単位:百万円)	2025/3期 実績	2026/3期 通期見込	増減率
営業収益	2,150	2,450	13.9%
営業原価	990	1,050	6.0%
営業総利益	1,160	1,400	20.7%
販管費	886	900	1.5%
営業利益	273	500	82.6%
経常利益	438	460	5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	399	450	12.6%

- ✓ 株式の売却は、25/3期から金額が増加する見込み。国内で複数の未上場株式の売却を見込む。
- ✓ プロジェクトの売却は、25/3期から金額・件数が減少する見込み。ディストリビューションセンタープロジェクト、複数の障がい者グループホームプロジェクト、その他プロジェクトの売却を見込む。
- ✓ 営業原価は、株式の売却原価が増加する見込み。一方で、組合持分損失等は運営中のプロジェクトの収益改善に伴い減少する見込み。
- ✓ 販売費及び一般管理費は、業績を伸長するために人員の増加を予定していることなどから増加を見込む

4. 業績予想－将来情報についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

トピックス	P16
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P18
プロジェクト投資 案件一覧	P19
主要データの推移	P23
営業収益・営業原価 内訳推移	P24
事業領域	P25
JAICの強み	P26
SDGsへの取り組み	P27
会社概要	P28

三重県松阪市の完全NON－FIT型バイオマス発電所が竣工

完全NON－FIT型、木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源
「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」



- ✓ 2025年3月、三重県松阪市において、当社が投資する「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」が竣工、本運転を開始
- ✓ 燃料は、ホクト(株)の「三重きのこセンター」(三重県多気町)から排出される生産副産物である使用済み培地(廃菌床)、リサイクル木材チップ、プラスチック系資源
- ✓ 年間1647万kWhのグリーン電力を発電
- ✓ 三重きのこセンターに対して、発電した脱炭素電力を長期間にわたって循環提供
- ✓ 多気町の廃棄物処理負担を低減しつつ、地域における資源・エネルギー循環経済の構築に貢献

トピックス 埼玉県春日部市の物流施設が竣工

埼玉県春日部市の物流施設が竣工

好立地・低環境負荷型の物流施設で、物流の効率化と地域の雇用創出に貢献



- ✓ 2025年2月、埼玉県春日部市において当社が投資する「KIC 春日部ディストリビューションセンター2」が竣工
- ✓ 3方が道路に面した好立地で、高速道路や一般幹線道路へのアクセスも良く、住宅地に近接しているため、雇用確保にも有利な物件
- ✓ 施設の使用電力の一部を蓄電池付太陽光発電システムにより供給する見込み
- ✓ 環境負荷の低減と同時に、テナント企業の電力コスト削減や停電時のBCP対策にも有効



再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2025年3月末)

メガソーラープロジェクト

売電中 9件(11発電所) 22.2MW

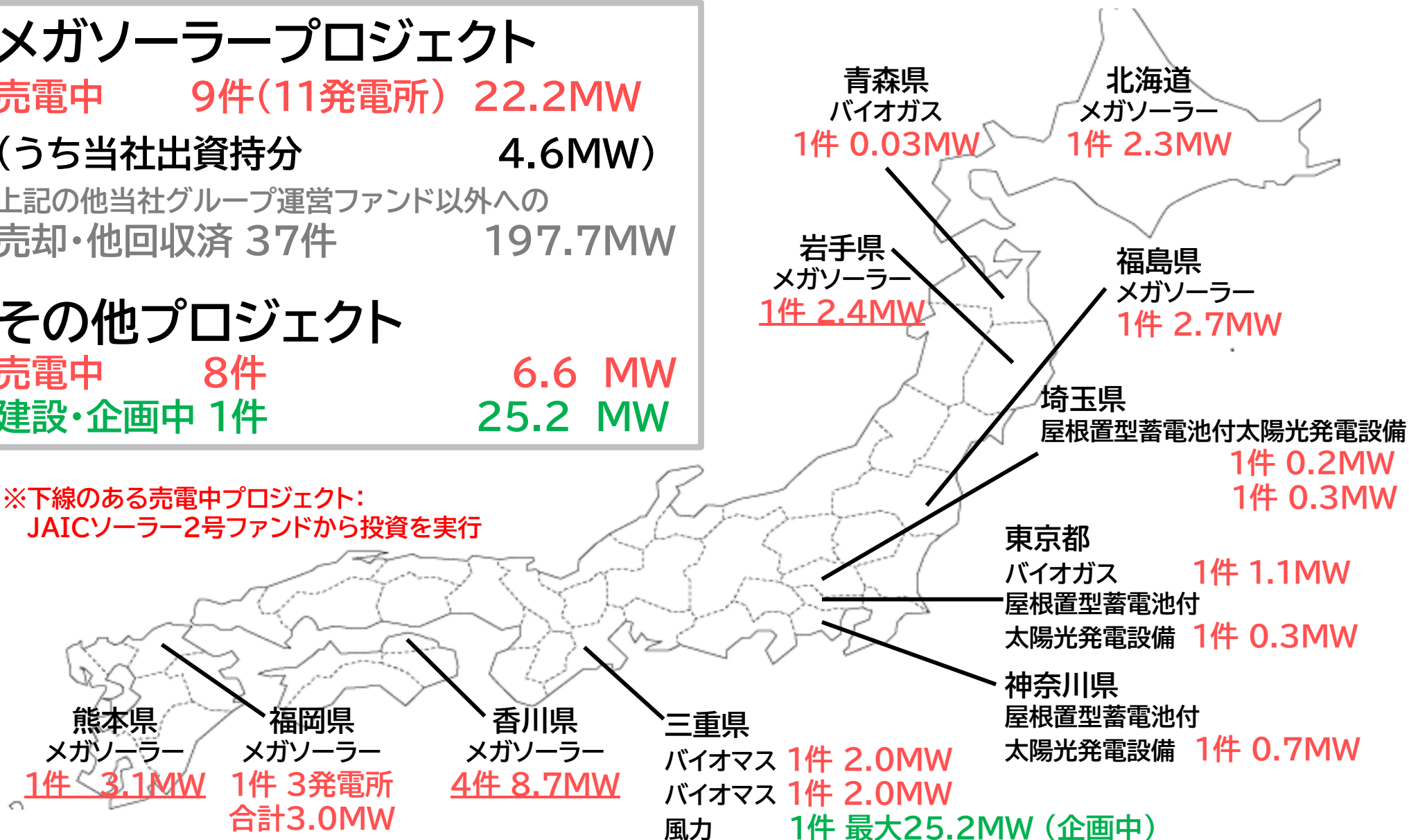
(うち当社出資持分 4.6MW)

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 37件 197.7MW

その他プロジェクト

売電中 8件 6.6 MW

建設・企画 1件 25.2 MW

※下線のある売電中プロジェクト:
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行

※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2025年3月末)

プロジェクト 種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
合計 22.2MW (うち当社出資持分 4.6 MW)					

※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2025年3月末)

プロジェクト 種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス 発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	売電中(2025年3月売電開始)	—
バイオガス 発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中(2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中(2018年11月売電開始)	39
風力発電	1	三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2025年3月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者 グループ ホーム	1	福島県いわき市	入居者用20～21室、短期入所用2～3室	営業中(2023年8月営業開始)
	2	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	3	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中(2025年3月営業開始)
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	7	大分県大分市	同上	建設中(2025年4月完成)
	8	福岡県直方市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	9	宮崎県宮崎市	同上	建設中
	10	福岡県久留米市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	11	佐賀県小城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	12	長崎県大村市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中(2024年12月営業開始)
	14	宮崎県都城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	建設中
	16	茨城県竜ヶ崎市	同上	企画中
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営業準備中(2025年5月営業開始予定)
	18	熊本県益城市	同上	営業準備中(2025年7月営業開始予定)

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2025年3月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	東京都あきる野市	延床面積 25,804㎡(予定)、地上4階建	2023年12月竣工
	2	埼玉県春日部市	延床面積 18,158㎡(予定)、地上4階建	2025年2月竣工
	3	非公開	非公開	企画中
	4	非公開	非公開	企画中

プロジェクト 種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	非公開	非公開	非公開
	4	非公開	非公開	非公開
	5	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	6	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

主要データの推移

(単位:百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
業績						
営業収益	2,760	3,089	2,409	3,017	964	2,150
営業総利益	1,359	1,301	1,276	961	△427	1,160
販売費及び一般管理費	1,094	1,086	1,189	1,147	1,094	886
営業利益	265	214	86	△185	△1,522	273
経常利益	140	173	61	△224	△1,569	438
親会社株主に帰属する当期純利益	302	144	49	△269	△1,574	399
財務状況						
現預金	3,920	3,699	2,740	2,464	1,750	3,292
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,437	5,583	6,781	6,053	5,248	4,088
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	5,287	4,267	4,812	4,083	3,003	2,856
借入金	8,166	6,950	5,943	5,142	4,314	3,495
自己資本	7,223	7,338	7,779	7,518	5,633	6,907
総資産	15,800	14,657	14,972	13,413	10,438	10,693

(単位:百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
ファンド設立・増加額	1,359	151	1,001	3,701	1,400	1,569
ファンド運用残高 ※	17,390	16,450	16,463	15,850	15,497	14,130
うち 当社グループ出資額 ※	5,163	5,434	4,953	3,389	2,428	1,707

※ 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

営業収益・営業原価 内訳推移



(単位:百万円)		20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
投資開発事業(プロジェクト投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)		6	11	11	9	12	24
プロジェクト運用利益(組合持分利益・インカム・イン等、その他営業収益)(b)		85	55	△15	20	29	25
プロジェクト運用損失(組合持分損失等、その他営業原価)(c)		150	110	141	386	281	137
プロジェクト運用損益(b-c)		△65	△54	△156	△366	△251	△111
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカム・イン等)(d)		1,542	1,351	1,150	887	272	1,552
売却原価(e)		489	587	509	90	262	513
評価損・引当(f)		-	-	-	75	-	88
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)		1,052	763	640	722	10	951
営業収益 小計(a+b+d)		1,634	1,418	1,145	917	314	1,603
営業原価 小計(c+e+f)		640	697	650	552	543	738
営業総利益 小計		994	720	495	365	△229	864
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)		93	62	40	17	49	48
成功報酬(管理運営報酬等)(h)		-	-	-	-	10	-
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカム・イン等)(i)		896	1,469	1,078	1,943	442	340
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等)(j)		515	896	337	1,274	203	212
評価損・引当(k)		245	194	145	229	645	39
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)		135	378	595	439	△405	89
営業収益 小計(g+h+i)		989	1,532	1,119	1,960	502	388
営業原価 小計(j+k)		760	1,090	483	1,503	848	251
営業総利益 小計		228	441	636	457	△346	137
ファンド・プラットフォーム事業							
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)		136	138	144	139	147	158
総計							
営業収益		2,760	3,089	2,409	3,017	964	2,150
営業原価		1,401	1,788	1,133	2,056	1,392	990
営業総利益		1,359	1,301	1,276	961	△427	1,160



①投資開発事業

- ・ ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- ・ インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス㈱が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- ・ 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- ・ 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

最先端の
業界情報収集力

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- ・ 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- ・ そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

- ・ 国内外で3,300億円の累計投資実績
- ・ プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2025年3月末現在)



会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	100百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)		
従業員数	単体21名／連結36名		
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業		
役員	代表取締役 社長執行役員CEO 丸山 俊		
	取締役 専務執行役員COO	橋 徳人	
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司	
	取締役 執行役員	河内 和洋	
	取締役 監査等委員長	大森 和徳	
	取締役 監査等委員	片桐 春美 (独立社外取締役)	
	取締役 監査等委員	工藤 研 (独立社外取締役)	

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先: 経営管理グループ IR担当

ir@jaic-vc.co.jp